

文理だより

平成28年2月5日発行 第81号
～ 生徒一人ひとりの可能性を引き出す塾 ～

今回は現役高校生を対象としている高等予備校を取り上げてみました。2人に1人が国公立大学に合格するという高等予備校の現状についてお話いたします。ぜひ、ご一読下さい。

本格的な受験シーズンが始まりました。特に大学入試は高校入試より一足先に始まっています。そして文理学院にはすでにたくさんの「桜咲く」の朗報が届けられています。1月20日付で、国公立大学に56名が合格し、私立大学に81名が合格しているのです。

2人に1人が国公立大学に合格！

では、その合格者を輩出している私どもの高等予備校について、少し説明をさせていただきます。高等予備校では、各学年ごとに原則として以下のような教科を指導しています。

1. 高校1年生 英語・数学・国語
2. 高校2年生 英語・数学・国語・理科(物理・化学)
[社会(日本史・世界史)を指導している校舎も有。]
3. 高校3年生 英語・数学・現代文・古典・理科(物理・化学・生物)・社会(日本史・世界史)
(英語、数学及び理科はセンター対策用と2次対策用のそれぞれ2種類の授業を実施。)

そして、中島校には富士市及び富士宮市の生徒の皆さんを対象に「東大講座」が開講され、富士吉田校では東大・京大等の受験を希望している生徒の皆さんを対象に「Zクラス(最難関クラス)英語」と「(最難関クラス)物理」を設置しています。これにより、高等予備校からは、毎年東大や京大、早稲田や慶應を始めとする一流大学に多数の合格者が生まれています。昨年春には国公立大学に**195**名が合格し、私立大学には合計で**773**名が合格しました。

文理学院高等予備校は現役の高校生だけを対象としている、いわゆる現役

予備校と呼ばれるものです。実は、現役高校生だけを対象としている予備校で、これだけの講座数を提供できている予備校は日本国内でも非常に限られています。私どもの高等予備校は、そういう意味において日本でトップクラスの現役予備校なのです。また、高等予備校では、部活を行っている生徒さんでも通塾できるよう考慮した時間割を設定していますし、通常の授業に加えて、以下のように各目的に合わせた様々なプログラムを実施しています。

1. 学校の定期テスト 2週間前から学校別で徹底したテスト対策を実施。
[高校1(2)年生対象。受講科目以外の科目も参加可。]
2. 大学入試の前哨戦として人気がある防衛大学入試対策講座を毎年実施。
3. A〇入試や推薦入試に必要な小論文対策や模擬面接練習も実施。また、必要に応じて「出願書類の書き方」の指導も実施。
4. 原則として4月1日以外は自習室をほぼ毎日オープン。その際、質問にはしっかりと応答する。

目指すは第一志望大学現役合格！

現在、都留、大月、富士吉田、甲府南西、御殿場、富士、中島及び富士宮駅南の8校舎を運営しています。そして、いよいよ4月から静岡市の唐瀬校でも開講することになりました。初年度は高校1・2年生コースを開講することになっており、今後大きな成果が期待されています。

さあ、受験本番です。受験生の皆さん、まず大切なのは健康です。風邪などひかぬよう十分注意しましょう。次に大切なのは「気持ち」です。「最後まであきらめない、最後までやり抜く」という強い気持ちを持って下さい。高等予備校の教師全員が、最後まで皆さんをサポートします。絶対に志望校に合格しましょう！頑張ろう、受験生！！

平成27年度 合格実績

国公立大学 195名

東京大学 1名 京都大学 2名

北海道大学 3名 東北大学 5名

筑波大学 4名 千葉大学 6名

山梨大学 26名 静岡大学 28名

私立大学 773名

早稲田大学 8名 慶應義塾大学 5名

上智大学 2名 東京理科大学 17名

明治大学 27名 青山学院大学 10名

立教大学 8名 法政大学 18名

中央大学 22名 駒澤大学 19名

専修大学 20名 日本大学 43名

山梨大学

教育人間科学部

学校教育課程言語教育コース 合格

尾崎 楓さん (大月校舎所属)

私は2年の10月に入塾しました。入ったばかりの頃、塾全体の受験に対する意識の高さに驚き、焦りと不安を抱いたことを今でもよく覚えています。

3年になって、自分の志望校がより具体的になっていき、担任の先生や文理の先生、両親との話し合いの結果、合格の可能性をより広げるために公募制推薦入試を受けることになりました。

推薦入試は決して楽なものではありませんでしたが、小論文の対策や面接練習など、文理の先生方には言葉では言い尽くせないほどお世話になりました。文理には仲間が沢山いて、自習室には溢れるほどのライバルたちがいます。後輩の皆さん、切磋琢磨しながら、是非頑張ってください。

(平成28年度)

合格者の声 (第1号)

浜松医科大学

医学部 看護学科 合格

飯島 実沙紀さん (富士宮駅南校舎所属)

私は小学校のころから文理学院に通っていました。テストに追われる高校生活の中で、自分のペースでコツコツと勉強できるスタイルを確立できたのは、文理の先生方のおかげです。親身になって質問に答えてくれたのはもちろん、勉強法で悩んでいたときも、一人一人の弱点をしっかりと見てくれていたので、的確なアドバイスをいただきました。苦手だった国語も荒川先生から正しい解法を学び、得点率が安定しました。また、自習室を利用することで勉強を習慣化でき、成績を伸ばすことができました。こうして第一志望の大学に合格できたのは文理のおかげだと思っています。ありがとうございました。

早稲田大学

スポーツ科学部 合格

土屋 夏彦さん (富士吉田校舎所属)

中学1年のときから、文理に通っていました。高校では部活に忙しく、それでも試験対策では3年間お世話になりました。受講科目以外の対策授業もしていただき、なんとか満足のいく成績が取れました。また普通は苦勞する模試成績も文理の先生からアドバイスをもらい、次第に成績がアップしました。特に時間があれば、自習室を利用しコツコツ学習を重ねることができました。夜遅くまで付き合ってくれた先生たちに本当に感謝しています。働き過ぎに気を付けて、後輩たちも指導してください。ありがとうございました。

山梨大学

工学部 応用化学科 合格

小田 優作さん (都留校舎所属)

私は山梨大学の推薦入試を受験しました。入試科目に小論文があったので、文理の対策授業を活用したり、個別に指導していただきました。また化学の口頭試問があったので直前期には化学ばかりを勉強していました。化学は割と得意だったので、成績は伸びていきました。受験勉強では苦手な科目を克服することも大切ですが、好きな科目をどこまで伸ばせるかを追及することも大切だと実感しています。また、文理の自習室を利用して、毎日勉強を積み重ねることが合格の鍵です。頑張ってください。

杏林大学

保健学部 救急救命学科 合格

小松 優作さん (御殿場校舎所属)

僕は高校1年生から3年間文理にお世話になりました。バスケ部を続けながら頑張れたのは文理の熱い先生方や、時にはライバルとして、時には良き友として互いを高め合い、励まし合った友人達がいたからです。また、いつでも利用できる自習室や、理解できるまで丁寧に教えてくれるところも、僕にとって最高の学習環境でした。さらに推薦入試対策では何度も面接練習の時間を作っていただき、第一志望の救急救命学科に合格することができました。この合格は周りの人達に支えられた結果だと感じています。とても感謝しています。